

平成27年 8月19日

報 告 書

江田島市議会議長 山根 啓志 様

平成27年度議会報告会 2班
江田島市議会議員 班長 登地 靖徳
江田島市議会議員 副班長 吉野 伸康
江田島市議会議員 浜西 金満
江田島市議会議員 胡子 雅信
江田島市議会議員 片平 司
江田島市議会議員 上松 英邦
江田島市議会議員 花野 伸二
江田島市議会議員 上本 一男

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

1 日程、開催地及び参加人数

	開催日時	会場	参加人数
能美地区	7月22日(水) 午後7時～9時	市役所本庁 2F 会議室	14人 (男性:10人, 女性:4人)
大柿地区	7月24日(金) 午後7時～9時	大柿公民館 2F 研修室	30人 (男性:23人, 女性:7人)

2 役割(受付、司会、あいさつ、報告者、答弁、記録)

区分	能美町	大柿町
司会	吉野	吉野
報告者	議会:浜西 総務:胡子 文教:上松 産建:登地 交通:花野 広報:片平	議会:浜西 総務:胡子 文教:上松 産建:登地 交通:上本 広報:片平
答弁	全員	全員
受付(2名)	胡子 上松	浜西 上本
記録	上本	花野

3 報告事項

(1) 6月定例会の概要質疑

【能美地区】 質疑なし

【大柿地区】 質疑なし

(2) 各常任委員会報告質疑

①総務常任委員会

【能美地区】

Q 1 市外から通勤している職員を市内に呼び戻せないか。なぜ市外に出たのか把握しているか。

A 1 議会で一般質問すると、執行部からは憲法に居住の自由が保障されると回答されます。職員服務規程で市内居住規定(市長の許可があればその限りではない)を求めても「まだ検討している」といわれる。なお、廿日市市は市内に借家した住宅手当を優遇して市内居住奨励の取り組みをしています。

Q 2 市外に出た理由を把握しているか。

A 2 個人情報ということで把握していません。

【大柿地区】

Q 1 公金管理運営協議会について市長も知らなかったと議会で言われたが、市民に分かるよう説明してもらいたい。

A 1 江田島市公金管理運営協議会が平成17年度設置され市も運用していなかったが、条例にない協議会だったので議会側も誰も知らなかったという状態でした。管理運用を議会サイドも着目していきたい。

②文教厚生常任委員会

【能美地区】 質疑なし

【大柿地区】 質疑なし

③産業建設常任委員会

【能美地区】

Q 1 一次産業の振興ですが、農産物の販路拡大、地産地消や直売所に取り組んでいるのか。

A 1 スポーツイベント等で地元産品も販売しており、また、有志の方による直売所も計画されている。

【大柿地区】 質疑なし

(3) 各特別委員会報告質疑

①交通問題調査特別委員会

【能美地区】 質疑なし

【大柿地区】 質疑なし

②議会広報特別委員会

【能美地区】 質疑なし

【大柿地区】 質疑なし

(4) 意見交換会

①テーマ：まちづくり

②その他（市政に対しての要望等）

【能美地区】

Q 1 班編成はあると思うが、能美町出身の議員は、何故、全員出席していないのか。

A 1 議員を1班、2班と班編成しており、能美町の当番は2班であり、能美町出身の議員は2人です。最終日（3班）は全員参加の予定です。

Q 2 報告者が資料のどの部分を説明しているのか分かりにくい。報告会のやり方を工夫してください。

A 2 持ち帰って検討します。

Q 3 文教委員は江田島市内の各小学校を綿密に巡回して欲しい。

A 3 調査研究したい。

Q 4 人口減少の食い止め策は？

- A 4 ①市内に産業がないので通勤できる仕組み(海上交通)を守らなければならない。公共交通協議会が市全体の交通ネットワークづくりをする。交通問題調査特別委員会として傍聴し、議員間で協議しながら市に提言していきたい。
- ②高校のない島に子育て世代が引っ越すか疑問。江田島市民全体で大柿高校を残すことを考えないといけない。
- ③沖地区では空き家対策、荒廃農地対策等で5年間に約60世帯増え、小さい子が20~30人増えた。今年に入って空き家が足らなくなっている。

Q 5 議員個人として人口問題をどのように考えるか。

A 5 (常任委員会ごとに議員が発言)

- ①子ども家庭が住める環境づくりをすべきである。
- ②光回線(インターネット環境)が整備されたこと、素晴らしい自然があることを宣伝する。魅力ある教育環境を整えることも必要。
- ③認定こども園が出来たことを自衛隊関係者にアピールする。
- ④農業が基幹産業であり、もう一度見直して農業団地など大胆な政策や6次産業を含め産地形成が必要。
- ⑤子ども医療費を中学校卒業まで無料化することも必要。
- ⑥保育所、学校の統廃合は慎重に。
- ⑦大柿高校が無くなったら島は完全につぶれるという共通認識が必要ではないか。
- ⑧運賃が高いと船に乗らなくなる。どうすればいいか市民からも声を上げてほしい。
- ⑨島からの船通勤では交通費の問題で就職難という声も聞く。
- ⑩日曜日でも子供を受け入れる保育園にするなど、保育施設の充実を図ることで母親の働く環境を良くして移住者を増やせないだろうか。
- ⑪後継者が少なくなり、キュウリのハウス団地も面積が半分になった。後継者を呼び込むにも土地の流動化が問題。行政や農業委員会等が関与すべきではないか。

Q 6 政務活動費の報告が無いのでは。

A 6 政務活動費は議会だよりで会派がどれだけ使ったか、また、返還したかの金額を年度終了後に公表しています。個別具体的な中身については議会事務局で閲覧できます。

Q 7 他市町と比較して人件費の比率が高いが、その改善策は。

A 7 4町が合併して400人を超える職員がいたが定年不補充で削減してきました。平成27年度からの第3次行財政改革により適正水準にする計画を立てています。

<個別意見>

- ①各議員は政務活動費を使って発展している町、良い政策をやっている町に視察いつていると思いますが、失敗した市町の事例を勉強して執行部に提案することもお願いしたい。
- ②空き家対策は大事ですが、それぞれ事情がある。行政・議員はもっと地域の中をあるいてみたらどうか。

【大柿地区】

- Q 1 地方交付税が今年度から減額されると聞くがどのくらいか。交付税が減らされていくことの対策は考えているか。
- A 1 現在、地方交付税が合併算定替により16億円程度あり、今年度1割減、2年目3割減、3年目5割減、4年目7割減、5年目9割減となります。
予定通り減額されると、運営が難しくなる地方自治体が増えるので、総務省でも支所機能の充実等を今後の課題として再考する予定があると聞いています。交付税減に対しては、合併当時は4町の職員をそのまま引き継いだが10年経ちかなりの人員削減をおこなっています。第3次行財政改革でしっかり考えていこうとしています。
- Q 2 報告してもらったが難しい。説明している資料が付いてないので、何を報告しているのか解らない。資料につけるべきでは。
- A 2 持ち帰って検討いたします。
- Q 3 創生会議（江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議）のメンバーを教えてください。
- A 3 座長が県立大教授、委員が自治会連合会、PTA連合会、認定こども園保護者会、田舎暮らしを楽しもう会、商工会、観光協会、農業委員会、漁業振興協議会、金融機関代表、ハローワーク、県子育て少子化対策課、県広報担当官です。
- Q 4 創生会議は議員が中心で行うべきでは。
- A 4 議員へは、7月27日の全員協議会で説明が行われます。
- Q 5 昨年11月29日に人口減少問題について議長宛てに提案したが、回答が5月21日に届いた、日数がかかった理由を教えてください。
- A 5 議会では対応できない為、執行部にお願いして渡しました。文章で回答する為日数がかかったのだと思う。

Q 6 人口を減らさない為のプロジェクトを設置するべきでは。人口減に対するチームなり作っていただく様にお願いします。

A 6 執行部のほうとへ伝えておきます。

参考までに、沖地区では移住者が増えています。少しずつではあるが、特に若い世帯が増えており、子供も増えている。鹿川の小学校と保育園に通っているが、児童の3分の1を沖地区の子供達がしめている。その中でも移住者の子供が3分の2いる。野菜等の産直市場等も繁盛している。移住者との交流の基点にもなっている。今後も地域で盛り上げて行きたい。

Q 7 江田島小学校跡地の利用と、他の閉園する保育園の活用方法を教えて欲しい。

A 7 江田島保育園の老朽化及び道路環境等の問題で移転することになり、1小学校区に1保育園ということで小用、宮の原、飛渡瀬の保育園を閉園し、認定子ども園江田島として江田島小学校跡地を移転予定地にしています。

閉園になる保育園の利用方法はまだ決めてない。公共施設の見直しの在り方の委員会が立ち上がっております。これから各自治会での話し合いが始まると思います。

Q 8 議長は、以前、震災後沿岸部には建物は建てられないと発言された。津波被害を想定して法律が変わったと言われたがどうなのか。(江田島小学校跡地について)

A 8 その時点ではどの市町でも海岸沿いには建てないと言われていた。設計図もまだできていない状態です。議会の方で、災害時に対応できる安全な建物になる様調査研究します。

Q 9 一般質問を何年もしていない議員がいる。住民の代表なのだから質問するように指導できないのか。

A 9 議会運営委員会へ持ち返ります。

Q 10 前回の議会報告会でインターネット中継の話が出たがまだできないのか。

A 10 議会運営委員会のほうで継続審議していきたいと思います。

Q 11 山が荒廃している。植林すべきでは。海にも影響があると聞くし、畑にも良い。オリーブも植えるなら、まだまだ沢山植えて工場ができ若者の就労場所になるぐらいの考えでしてほしい。

A 11 オリーブを12,500本植えています。1本につき市が1,400円補助しております。オリーブの島といわれるよう市民の皆さんに沢山植えていただきたい。

Q12 植えた後の指導がない。

A12 専従職員が2名います。広報等でお知らせしているが、オリーブ振興協議会へ伝えておきます。

Q13 イノシシの対策は取られているのか？排水路も壊し大変である。

A13 対策協議会が活動しております。昨年度も1,112頭捕獲しております。執行部に伝えておきます。

Q14 小古江地区は、子どもの公園もない、高齢者がグランドゴルフをする場所もない、なおかつ避難場所もない。大原へ行くようになっているが無理である。前から何度も見に来て欲しいと頼んでいるが誰も見に来てくれない。

A14 今度、小古江に行きます。

Q15 議員定数をなぜ減らしたのか。

A15 人口類似市等と比較して決めた。

Q16 なぜ減らした後、議員報酬を上げたのか。

A16 報酬審議委員会からの提案があり、議会で賛成多数で報酬を上げました。

4 まとめ（所見）

2会場とも昨年度に比べると参加者は減少した。人口減少問題への関心度は高く、解決策をどう考えているかの質問が中心であり、市民の声を反映した具体策を執行部へ提言することが求められる。7月23日に地方創生における総合戦略の「江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議」が開催され、大柿地区では当日の新聞報道があったのでこれについての質問がでた。

今回は配布資料について参加者からはどこを説明しているかわからないという声があり、報告事項に関する質疑時間内の発言が少なかった。今後の課題として、資料や内容も含めて工夫が必要である。